J-38

イベントによる河川空間の利活用に関する研究
-東京都17市区を対象として-
A Study on the utilization of the event by the river space
As the target Tokyo rivers along the 17 municipal district

○植松脩人[1]，畔柳昭雄[2]，菅原遼[3]
*Naoto Uematsu[1], Akio Kuroyanagi[2], Ryo Sugahara[3]

Abstract: River improvement has been promoted aggressively, came to a variety of events can be seen in the river space. In this study, we focused on the events along the river, which was held in each municipality, aims to understand the usage trends of recent years of the river space. As a result, the river space applications is different depending on the shape and the existing facility.

1. はじめに

近年，河川空間の整備及び利活用を通じてより良いまちづくりや地域活性化を目指す「かわまちづくり」が全国的に展開されている．特に 2009 年に策定された「かわまちづくり支援制度」では，かわまちづくり計画に登録された地域において，ハード・ソフト両面での河川整備が実施されている．かわまちづくり支援制度とは，地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された，河川の空間整備やその利活用計画に基づき，まちと水辺が融合した空間形成の推進を図るものであり，これにより，全国の河川において多様な空間利用がみられるようになってきている．そのため，現在の多様化しつつある河川利用の動向を捉えていく必要がある．

そこで本研究では，かわまちづくり支援制度登録の河川で実施されてきているイベントの傾向を通して，近年の河川利用の動向を捉えることを目的とする．　尚，河川空間の分類は，河川水辺の国勢調査マニュアル [1)] に基づき，水面，水際，高水敷，堤防，橋梁，公園，遊歩道，他施設，他陸地とした．

2. 研究方法

調査対象地を Table1 に示し，イベント内容の分類を Table2 に示す．調査対象は，かわまちづくり計画の登録数が最も多い東京都を対象に，各計画の対象河川が流れる市区町村として，17 市区を選定した．

調査は，2015 年 10 月～2016 年 9 月の期間，17 市区が定期的に発行している広報誌を収集して，河川空間で開催されているイベントを抽出した．尚，本研究におけるイベントは，広報誌に「行催事」「催し物」「イベント」「教室」と記載されているものとした．[2)]

Table1. Surveyed land

登録年	計画名	登録申請主体	調査対象自治体
2009	江戸川区かわまちづくり	江戸川区	
2009	北区かわまちづくり	北区	
2009	足立区かわまちづくり	足立区	
2009	大田区かわまちづくり	大田区	
2009	防災船着場整備によるかわまちづくり	中央区　北区　葛飾区　文京区 荒川区　江東区　台東区　足立区 品川区　墨田区　江戸川区	
2009	乞田川・大栗川かわまちづくり	多摩市	
2009	日野市かわまちづくり	日野市	
2015	「東京都の顔」隅田川におけるかわまちづくり	中央区　墨田区　台東区　台東区	
2016	葛飾区かわまちづくり	葛飾区	
2009	日本橋川かわまちづくり	東京都	千代田区 中央区
2009	渋谷川・古川かわまちづくり	東京都	渋谷区 港区
2009	中川下流かわまちづくり	東京都	江戸川区

Table2. Classification of the event content

17市区のイベント内容の分類				イベント数
大項目	定義	小項目	例	2015.10～2016.9
食販	食品・物品の提供	食品販売	川の手荒川まつり(荒川区)	34
		食品配布	大島旧中川 そらまめ祭り(江東区)	5
		食事会	さくらクルーズ(千代田区)	2
		フリーマーケット・バザー	区民まつり「こどもフリーマーケット」(足立区)	4
体験	身をもって自然そのものや、自然に関連した産業を体験する	釣り	第26回夏休み少年少女ハゼ釣り大会(江戸川区)	5
		摘み取り	第一回浅川アユまつり(日野市)	3
		乗船体験・クルージング	メイドさんと行く神田カレーグランプリクルーズ(千代田区)	44
		製作体験	夏休み親子周遊ツアー手作りカヌー乗船体験会(中央区)	15
		キャンプ	まるごと荒川day「家族でデイキャンプ」(足立区)	2
		星空観察	自然と遊ぼう！かつしかっこ探検団(葛飾区)	1
		自然観察	河原の昆虫を観察しよう(荒川区)	37
		施設見学	浅川水再生センター施設公開夏フェスタ2016(日野市)	1
保全	環境への貢献	ゴミ拾い	第11回隅田川クリーン大作戦（台東区）	14
防災	災害への対策	防災訓練	水辺の防災訓練（江戸川区）	7
神事	儀式的行為	祭礼	第 31回江戸流しびな(台東区)	2
		式典	新春恒例日野市消防団出初式(日野市)	4
運動	特別な格好で行う身体活動	スポーツ大会	第85回早慶対校競漕大会(墨田区)	17
		ボート・カヌー等	多摩川カヌー体験教室(多摩市)	10
		ウォーク	多摩川さわやかウォーキング(多摩市)	40
		サイクリング	遊びの学校「親子で荒川サイクリングツアー」(足立区)	3
		マラソン	荒川リバーサイドマラソン(荒川区)	6
		トライアスロン	桜橋・わんぱくトライアスロン2016(台東区)	1
		その他スポーツ	水辺のスポーツガーデンフットサル大会(江戸川区)	13
娯楽	人工的なエンターテイメントを興じる	ゆるきゃら	台東区ゆるキャ ラスポーツ頂上決戦(台東区)	2
		ステージ	せいせきみらいフェスティバル(多摩市)	20
		演奏会	洗足池春宵の響(大田区)	7
		踊り・ダンス	葛飾舞祭(葛飾区)	6
		ライトアップ・イルミネーション	荒川ライトアップイベント(北区)	8
		灯篭流し	納涼のタベ(千代田区)	1
		花火	江戸川区花火大会(江戸川区)	8
		凧揚げ	堀切大凧揚げ大会(葛飾区)	5
		映画上映	リバーフェスタ江東(江東区)	3
		その他ゲーム	あらかわ自然スタンド「土手すべり」(足立区)	7
			計	337

1：日大理工・学部・海建 Graduate School ,Nihon-U.
2：日大理工・教員・海建 Prof, CST ,Nihon-U. , Dr. Eng
3：日大理工・教員・海建 Associate Prof, CST ,Nihon-U. , Dr. Eng.

3. 河川空間を活用したイベント内容の特徴

3.1. イベント内容の特徴

調査の結果，広報誌より 337 のイベントが抽出でき，イベント内容を整理したところ，33 の小項目に分類でき，加えて，類似の内容の小項目を 7 つの大項目に整理した．大項目別にみると，自然観察や乗船体験，クルージング等の「体験」が全イベントの 34%（108）を占めており，スポーツを行う「運動」（90），花火・ステージなどの「娯楽」（67）も 2 割以上占めていることが分かる．また，クリーン作戦等の「保全」（14）や災害に備えての「防災」（7）など，河川空間において多様なイベントが開催されていることが分かる．

3.2. イベント内容と開催場所の関連性

開催場所とイベント内容の関係を Table3 に示す．河川空間の分類に基づき開催場所を判定し，イベント内容とのクロス集計を行った．また，花火大会のイベントにおいては，打上げ場所ではなく視点場が重要であるが広報誌では判断できないため，開催場所に〔花火〕の項目を増やした．場所別にみていくと，〔高水敷〕は多様なイベントで活用されていることがわかる．〔高水敷〕・〔水際〕での観察イベントなど，水辺空間に依存したイベントがある一方，〔高水敷〕での「食販」や〔他陸地〕での「運動」など直接河川と触れ合わないイベントもあり，両方が混在している．また，〔水面〕は特に「体験」イベントが多く開催されており，水上バス等のクルージングが顕著に見られた．〔高水敷〕も「体験」イベントは比較的多く開催されており，内容は自然観察や製作体験が殆どであることから，開催場所によってイベント内容が異なっていることが分かる．

3.3. 自治体ごとのイベントの特徴

市区別のイベント内容数をTable4に示す．市区をまたがって行われているイベントは各市それぞれに含めた．イベント数に着目すると，最も少ない市区は，渋谷区・港区・文京区で0，最も多い市区は江戸川区で56である．渋谷区・港区を流れる渋谷川・古川は，ビルや家屋が川岸まで密集する市街地を流れるため，河川に面した通路がほとんど整備できてない．現在の河川利用としては，眺望等のための河川利用は橋梁や河川に隣接する公園に限られ[3]，河川沿いでのイベント開催は難しい状況である．一方，イベント数の多い自治体は，〔高水敷〕に広場や運動場等の施設が充実しており，イベントを開催する空間が確保できている．市区別の特徴を見ていくと，江戸川区では「運動」が，足立区では「体験」が突出して多い．

Table3. Cross table of venue and event content

	水面	水際	高水敷	堤防	橋梁	公園	遊歩道	他施設	花火	他陸地	イベント数
食販	1	0	13	0	1	15	2	7	0	6	45
体験	45	7	25	0	0	13	1	7	0	10	108
保全	1	0	8	1	0	1	1	0	0	2	14
防災	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	7
神事	0	2	2	0	0	2	0	0	0	0	6
運動	14	0	34	0	0	3	1	0	0	38	90
娯楽	8	0	16	2	3	10	3	5	8	12	67
イベント数	69	9	104	3	4	45	8	19	8	68	337

Table4. Properly-event content by the number of events

	食販	体験	保全	防災	神事	運動	娯楽	イベント数
江戸川区	7	8	1	3	1	27	9	56
北区	1	2	2	0	0	3	1	6
足立区	3	28	1	1	0	11	10	54
大田区	3	2	1	0	0	4	5	15
千代田区	3	10	0	0	0	2	5	20
中央区	0	6	0	0	0	1	1	8
渋谷区	0	0	0	0	0	0	0	0
港区	0	0	0	0	0	0	0	0
文京区	0	0	0	0	0	0	0	0
台東区	1	3	2	0	1	7	3	17
墨田区	7	11	1	0	0	6	9	34
江東区	7	13	0	1	1	8	6	36
品川区	3	4	0	0	0	2	5	14
荒川区	4	4	0	0	1	1	4	14
葛飾区	2	7	2	0	0	2	5	18
多摩市	2	3	1	1	0	5	2	14
日野市	2	7	3	1	2	11	2	28
イベント数	45	108	14	7	6	90	67	337

4. おわりに

本研究では，河川沿いのイベントから近年の河川空間の利用傾向を捉えた．その結果，河川空間は形状や設置された施設によりイベント内容が異なり，中でも高水敷では河川の開放性を活かし，多種多様な利活用がなされていた．一方で水面や他陸地は特定のイベントが開催されていることがわかった．イベント内容は，体験乗船など河川に依存したものと，ウォーキングなど河川の空間性を考慮した催しが見られた．

本稿の結果を踏まえ，今後はイベント開催趣旨から自治体の河川の捉え方を把握し，各自治体の河川利用に対する考え方が河川空間でのイベントの特性とどのように関連しているか検討していく．

参考文献

1）財団法人リバーフロント整備センター：河川環境データベース「河川水辺の国勢マニュアル」（河川空間利用実態調査編）1997

2）前川一華ら：イベントによる海岸の利活用に関する研究-千葉県沿岸市町村を事例として-, 都市計画論文集，Vol50.No.3 .pp. 1137-1144.2015

3）東京都建設局河川課：河川整備基本方針及び河川整備計画「渋谷川・古川河川整備基本方針」. 2008.5